

## 会議録

会議名称	平成24年度第1回鯖江市地域公共交通会議		
開催日時	平成24年12月18日(火) 午前10時00分～午前11時15分		
開催場所	鯖江市役所 4階第1委員会室		
会議資料	会議次第 委員名簿 平成24年度つつじバス運行事業概要および実績について (資料No.1) 平成25年度つつじバスダイヤ改正について(資料No.2)		
出席者	湧口会長(鯖江交通安全協会) 齋藤副会長(鯖江市区長会連合会) 山本委員(鯖江高速観光(株)) 上田委員(鯖江交通(株)) 仲保委員(越前観光(株)) 加藤委員(つつじ(株)) 相馬委員(鯖江地区ハイヤータクシー業会) 伊藤委員(代理:魚谷氏)(福井鉄道(株)) 窪田委員(鯖江市老人クラブ連合会) 前田委員(鯖江市連合婦人会) 岸本委員(鯖江市PTA連合会) 平谷委員(代理:三屋氏)(国土交通省中部運輸局福井運輸支局) 水野委員(鯖江警察署) 鈴木委員(代理:中山氏)(福井県総合政策部交通まちづくり課) 岩井委員(代理:中谷氏)(福井県丹南土木事務所鯖江丹生土木部管理用地課) 為沢委員(福井県交通運輸産業労働組合協議会) 計 16名		
欠席者	野本委員(社団法人福井県バス協会) 山内委員(鯖江市壮年グループ連絡協議会) 加藤委員(鯖江商工会議所) 辻本委員(鯖江市) 計 4名		
事務局	中村課長、関本参事、峰田補佐、酒井補佐 計 4名		

### 1 開会・会長あいさつ

### 2 報告事項

平成24年度つつじバス運行事業概要および実績について…資料No.1

## ○事務局説明

### 【湧口会長】

利用実績がすばらしい成績である。特に8百何十万持ち出ししている無料乗車は福祉バスの様相が強い部分で、他市と比べてもすばらしい。実績だけでなく利用促進のための市長のアイデアが良い。丹南病院での接近情報システム、バスロケーションシステムも市長のアイデアなのか？

### 【事務局】

前々からこういったシステムを整備したいと思っておりましたが、発案は市長です。

### 【湧口会長】

自主返納の人がどんどん増えていて県内で4割が鯖江である。後期高齢者が後期高齢者を跳ねる時代であるが、自主返納してバスに乗る人は車に跳ねられないので家族も安心。鯖江の路線は自主返納してもバス移動で生活していける安心感がある。利用者が増えているのはコミバス・道路のインフラ整備が良い証である。経費についても800万円ほどの無料乗車分があるので、実際は一人当たり120～130円で走っていることになる。

### 【三屋委員代理】

バスロケは非常にいいシステムだと思う。住民に知ってもらうためにPRはどの様に行ったのか？

### 【事務局】

市の広報紙、ホームページ等で稼動少し前から広報している。また丹南病院の接近情報案内のところにチラシを置いたりして広報に務めている。

### 【三屋委員代理】

感覚的でかまわないが、利用者が増えている現状で、手ごたえとして市民にバスは定着していると考えてよいか？

### 【事務局】

毎年、実績が伸びるのは今年がピークと思っているが、予想を超えて伸びており、今年度も平均3%の伸びを示している。特に10、11月は通常より伸びているのは丹南病院への乗り入れ効果だと考えられる。こういった新しい取り組みで利用者が増える。今年度から歴史の道線を運行しており、絶対的な人数は少ないが、利用者の少なかった鯖江南線と新横江線の第1便を廃止して、同車両の空き時間を歴史の道線に振り分けた形となり、この車両としての利用実績は伸びている形となる。歴史の道線の実績自体はもう少し伸びて

欲しいところであり、地域の方にラポーゼかわだへ行く路線の案内をだしたり、地域の区長さんにご協力いただいたりして広報に努めている。実績を伸ばすにはアイデア大事なのでみさんからの提案をいただきたい。

【湧口会長】

バス運行にはやはりコストがかかるので、地元の方の理解をいただいて便数を減らしたところであるが、こういう対応がうまくいっている。歴史の道線も早く定着化して欲しい。

### 3 協議事項

平成25年つつじバスダイヤ改正について…資料No.2

○事務局説明

【湧口会長】

この件は地元の要望に基づいているので反対はないと思う。こうすることで利便性を高め乗車実績を上げることに繋がるのでこのまま受け止めさせていただきたい。つつじバスダイヤはJRの時間が基礎になっているので、来年3月のJRダイヤ改正で、必要があればバスのダイヤを組み直したいと思う。その際には事務局に計画作成を一任いただき、持ち回りで承認をお願いしたい。

【相馬委員】

つつじヶ丘の路線延長について、地図では公園の奥を回る形になっているが、公園の手前をショートカットする路線ではダメなのか？

【事務局】

バスが通ればどちらでも可能だがショートカットする道は結構狭い。運行事業者から見て安全上問題なければ結構だが、その場合はバス停の場所が変更となる。区長さんから数パターンの案をいただいたが、利用者からみるとこの場所が良いと聞いている。利用者の利便性を重視して判断したいので検討させていただきたい。

【相馬委員】

JRダイヤ変更に伴うバスダイヤ改正について、今後毎回あるのか？事業者にとっては、運輸局への変更申請があるので大変な負担である。ある程度固定してもらおうとありがたい。

【湧口会長】

JRについては特急の時間が一番であるが、この5年間でほとんど変わっていない。それが変わらない限りローカル路線も大きくは変わらない。それがどうか次第である。

【事務局】

特急は当面は変えないと聞いている。ただし今年度、普通ダイヤが予想外に変わった便がある。その様な場合には変更したいが、1、2分の変更があったからといって必ず変更するものではない。

**【三屋委員代理】**

「近松会館」、「近松の里たちまち 立待公民館」バス停名称変更は、親しみやすい名称にという地元等からの要望があったのか？

**【事務局】**

近松関係を扱っている文化課が、地元の方と協議した結果を事務局に要望したものである。

**【中山委員代理】**

運転免許自主返納者に対するつつじバス無料制度の永年化について、良い制度だと思うが、県内で初なのか？

**【湧口会長】**

自主返納者に対するバスの無料化は、私が市長にお願いして市長の英断で制度化してもらったもので鯖江市が最初である。越前市も含めその後2、3市が追従している。永年化も県内初である。この制度は交通事故防止策として相乗効果が大きいと思っている。

→質疑応答終了 **【承認】**

## 4 その他

**【相馬委員】**

河和田線の第1便について、冬季ダイヤ（ラポーゼ発）にすることを検討してもらえないか？

**【事務局】**

今秋に地元区長（上河内、沢）とも協議したが、冬季にバス停を休止することは地域のイメージダウンにも繋がるので避けて欲しいと言われている。ただし安全運行が前提であるので、積雪状態が続くようであればバス停休止を事前告知しながらラポーゼでの折返し運転をすることに理解をいただいている。冬季間というだけでバスを通さないのは理解が得られないので、積雪がない場合は通常通り運行して欲しい。積雪があった場合は、市が調整してバス停休止を連絡する。

**【相馬委員】**

丹南病院への乗り入れやつつじヶ丘の路線延長でダイヤが過密になり、運転手にとって厳しい状況になってきているので、これ以上過密にしないで欲しい。

**【事務局】**

申し訳ないと思っている。今回の路線延長で従来以上に過密になっているのは承知している。これ以上は現実的に難しいと思っているので、それを踏まえて今後は対応したいと思う。

**5 閉会**